

## 1 はじめに

### 三宮周辺地区の目指すべき姿

- 構想の目的
- 構想の方向性

## 2 まちづくりの基本方針

### 三宮周辺地区の再整備基本構想の目標・基本方針

- 目標
- 方針1
- 方針2
- 方針3
- 方針4
- 方針5

## 3 まちの姿の実現に向けた取組み

### 三宮周辺地区の再整備基本構想のビジュアルイメージ

- 方針ごとの
  - 交通・回遊性等の機能配置図
  - 具体的な取組
  - イメージパース
  - 地域、事業者、行政による役割分担

## 4 構想の実現に向けて

### 三宮周辺地区の再整備基本構想のスケジュールイメージ

- 短期
- 中期
- 長期

### 参考資料

- 三宮周辺地区の現状と課題
- 検討体制と経緯
- 三宮構想会議の開催状況



# ■三宮周辺地区『再整備基本構想』のアウトプットイメージ（他都市事例）

## ■参考事例1) 名古屋駅周辺まちづくり構想

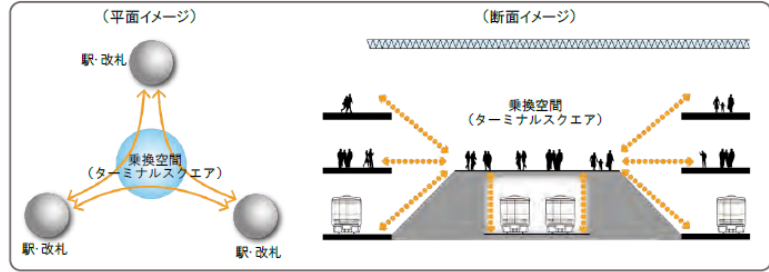
### コンセプトと方針

- 【目標】世界に冠たるスーパーターミナル拠点  
 【方針】1) 国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す  
 2) **誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる**  
 3) 都心における多彩な魅力を活かし、つないでいく

#### 【わかりやすい乗換空間の考え方】

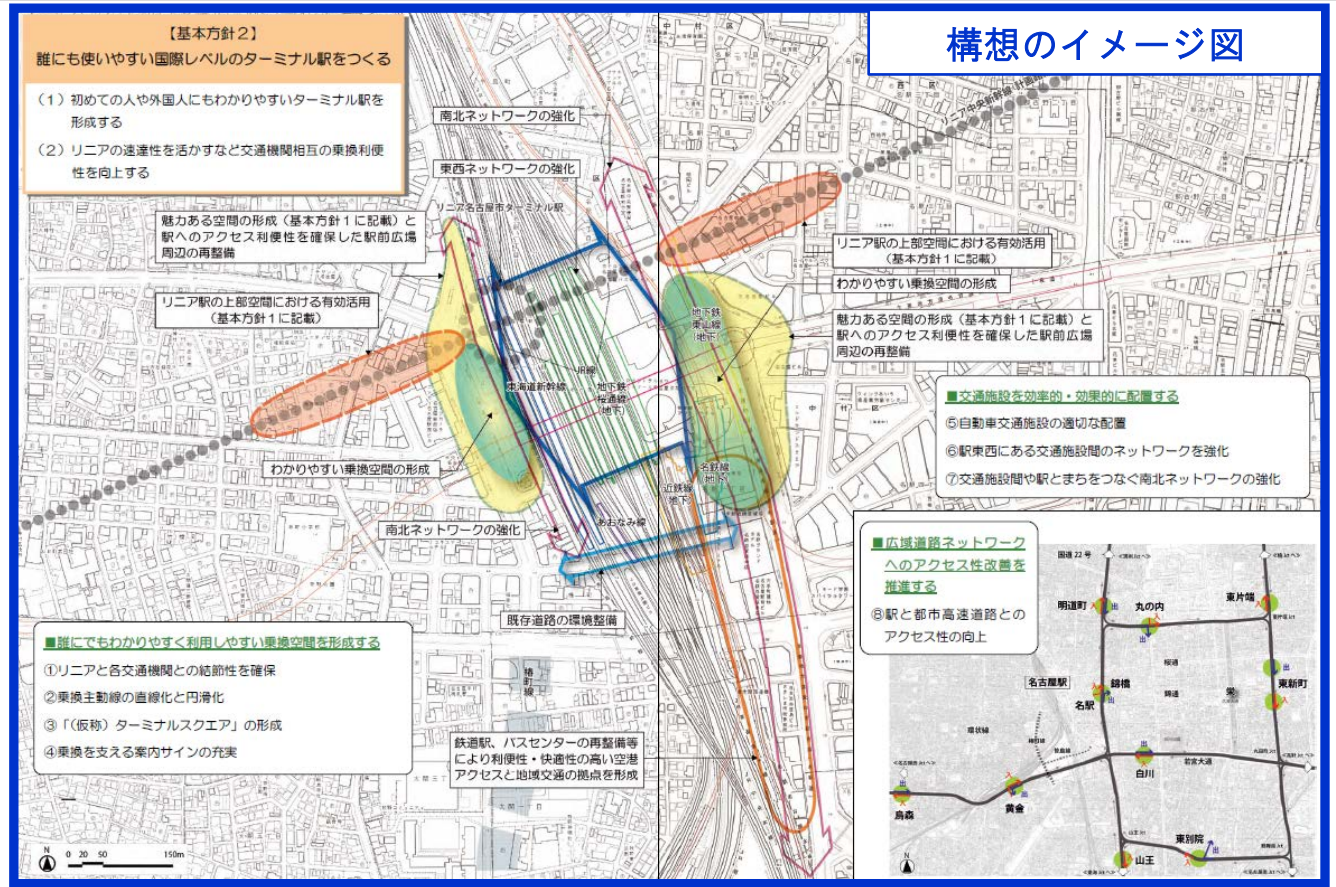
• 複数の交通機関相互の乗換動線や、駅とまちをつなぐ動線が交差する箇所において、動線の整流化やわかりやすさ、利便性向上のため、乗換先が一目で見渡せ、上下移動も円滑にでき、案内機能も備えた広場空間「(仮称)ターミナルスクエア」を形成する。

(仮称)ターミナルスクエアのイメージ



【方針2の整備イメージ】

【駅空間のイメージ】  
地下広場空間のイメージ



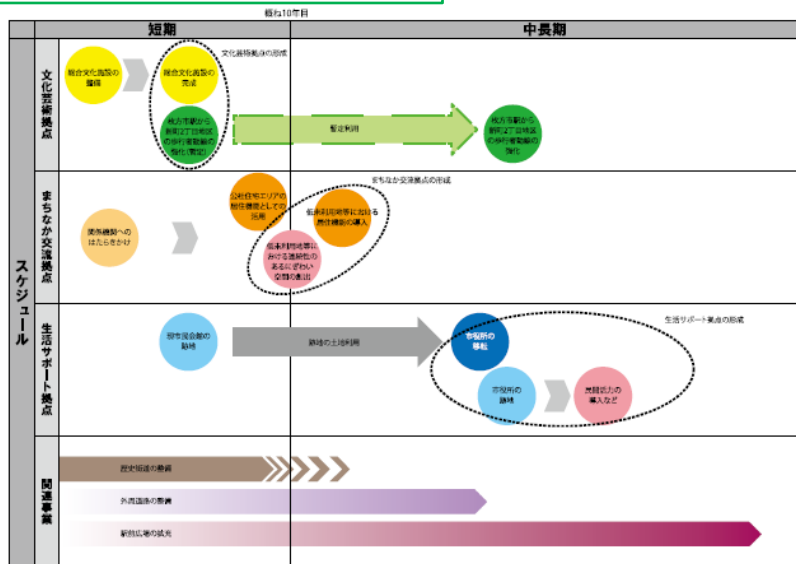
## ■参考事例2) 枚方市駅周辺再整備ビジョン

### コンセプトと方針

- 【基本コンセプト】再発信ひらかた 人が主役のゆとりと賑わいのまちへ  
 【まちづくりの方向性】1) 広域的な拠点としての機能の更新・充実  
 2) 社会環境や市民ニーズに対応した多様な都市機能の集積・強化  
 3) 人々の活動や交流を促進する交通基盤のネットワーク展開  
 4) 地域資源と文化芸術活動を活かした枚方らしさの創出

【ビジョンイメージ図】

### 取組みとスケジュール



方向性1：  
広域的な拠点としての機能の更新・充実



方向性3：  
人々の活動や交流を促進する  
交通基盤のネットワーク展開



方向性2：  
社会環境や市民ニーズに対応した  
多様な都市機能の集積・強化



方向性4：  
地域資源と文化芸術活動を活かした  
枚方らしさの創出



### 構想のイメージ図



- (1) 拠点形成と連環型によるまちづくり  
 ○ 既存の拠点(広域駅前拠点)の強化と新たな3つの拠点(文化芸術拠点・まちなか交流拠点・生活サポート拠点)の形成による、まち全体のゆとりと回遊性の向上による賑わいづくり  
 ○ 総合文化施設の整備を契機とした、連環型のまちづくりの推進
- (2) ゾーニングの設定  
 ○ 拠点形成と連環型まちづくりの実現に向けたゾーンニングの設定
- (3) 交通環境の改善  
 ○ まちへのアクセスや地域内での移動円滑化に向けた交通環境の改善
- (4) 快適な空間の創出と環境負荷の軽減  
 ○ 魅力ある心のゆとりを生み出す快適な空間の創出と景観に配慮した緑豊かなまちの形成  
 ○ 低炭素まちづくりを推進する環境計画からの取り組みの推進
- (5) 安全・安心への働き  
 ○ 防災  
 ○ 防犯  
 ○ 防災
- (6) 地域資源や地域活動の活用  
 ○ 魅力ある地域資源の保全・活用による枚方らしさの創出  
 ○ 地域が一体となった様々な活動が継続かつ活発に行える環境の整備



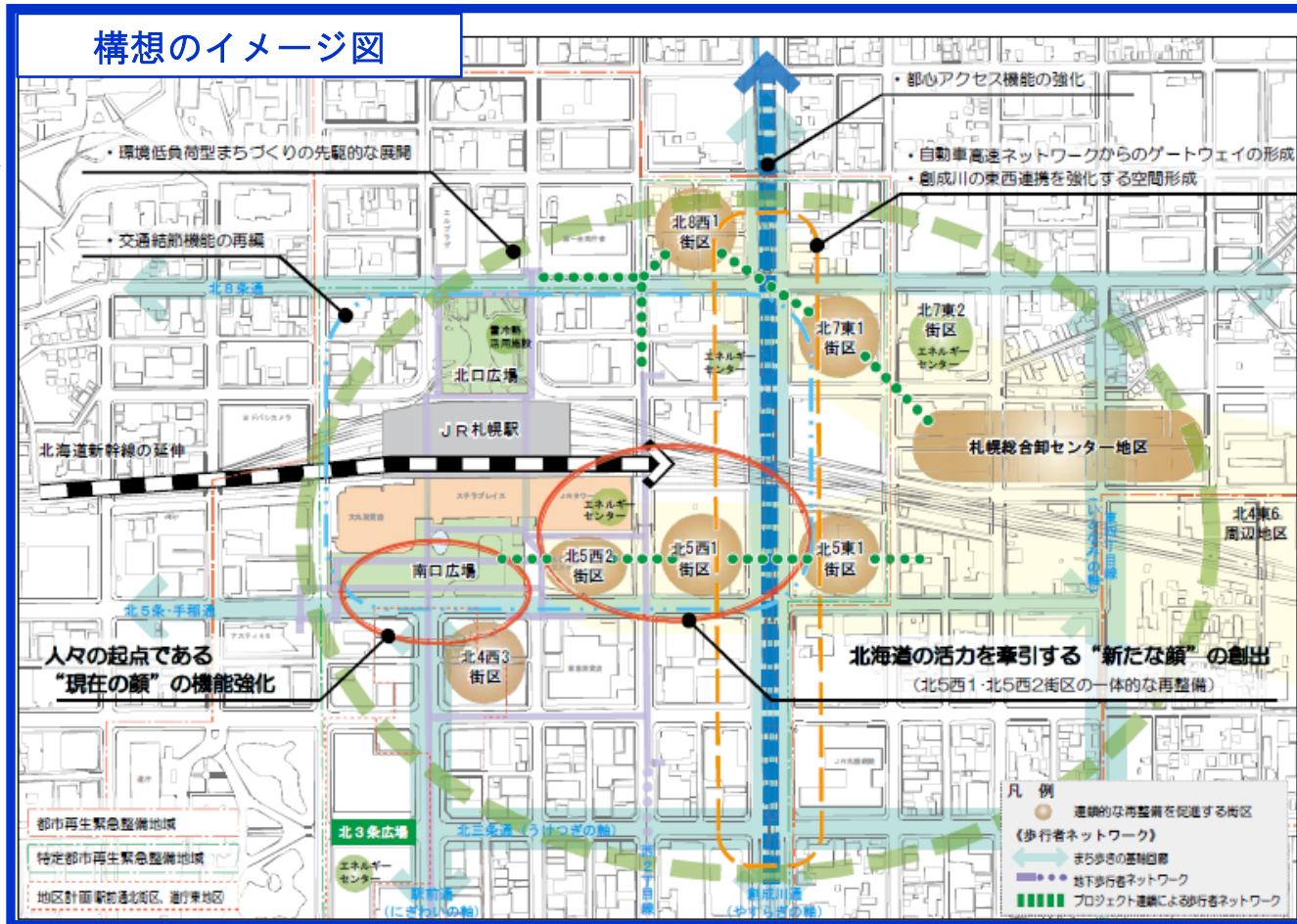
■参考事例3) 札幌駅交流拠点再整備構想(案)

コンセプトと方針

- [コンセプト] 人間環境都市“さっぽろ”の起点  
 ~人・モノ・情報・ビジネスの交流により創造性・活力を育む~
- [4つの方針] 1) 人: 魅力的で質の高い人中心の空間の形成  
 2) 創造: 産業や文化を創造する交流の場の形成  
 3) 交通: 北日本の一大交通拠点の形成  
 4) 環境: 環境首都・札幌の実践空間の形成

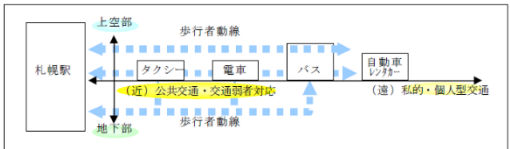
【目指すべき方向性のイメージ】

構想のイメージ図



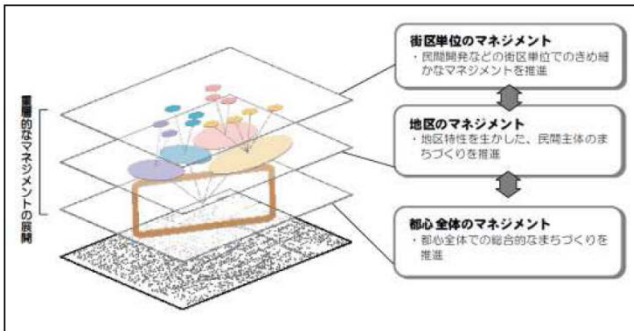
【多様な交通モードを結びつける交通結節機能向上の考え】

例: 各交通施設は駅を中心として水平方向に「(近)公共・弱者→(遠)個人」といった配置にするともに、上空部または地下部も活用することによって、四季を通じた円滑な歩行者動線を確保する。



また、海外や国内から多くの人を訪れる札幌駅交流拠点においては、人々の活動拠点および案内窓口として相応しい、明確な歩行者動線、分かりやすい案内、施設配置とする。

【重層的なマネジメント体制の考え方】



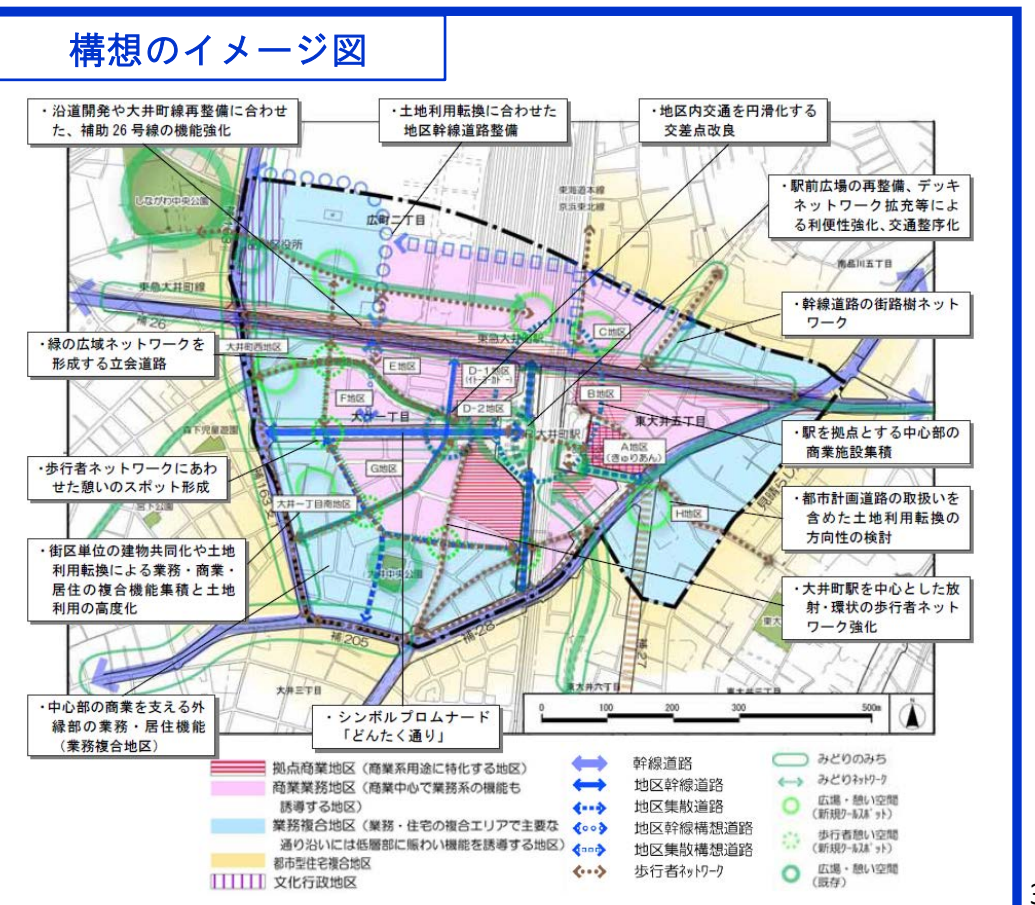
■参考事例4) 大井町駅周辺地区まちづくり構想

コンセプトと方針

- [方向性] 楽しく暮らし、気軽に訪れることができる芸術・文化・生活のステージ
- [考え方] 1) 商業・業務・文化・居住などの機能強化による「人が集まる」まちづくり  
 2) 駅とまちをつなぎ、便利で安心な「歩きたくなる」まちづくり  
 3) 環境に配慮し、魅力的で快適なまちづくり  
 4) まちの更新に合わせて、段階的に進めるまちづくり

【まちづくりの方向性イメージ】

構想のイメージ図



取組みとスケジュール

【段階的なまちづくりイメージ】 短期~長期

シナリオ1 短期

シナリオ2 : 長期

